

令和 7 年 7 月 9 日
四国電力株式会社

伊方発電所 1 号機 燃料取替用水ライン弁からのほう酸水の漏えいについて（続報）

伊方発電所 1 号機は廃止措置中のところ、本日 0 時 30 分頃、運転員が燃料取替用水ライン弁からほう酸水が漏えいし、ほう酸が析出していることを確認しました。その後、当該弁から析出したほう酸の拭き取りを行うとともに、漏えい箇所の水抜きを行い、6 時 12 分、ほう酸水の漏えいが停止したことを確認しました。

ほう酸水の漏えい量は約 140 ミリリットルで、分析の結果、放射エネルギーは約 43 Bq^{*1}と推定しました。

なお、本事象によるプラントへの影響および環境への放射能の影響はありません。
(7 月 4 日にお知らせ済み)

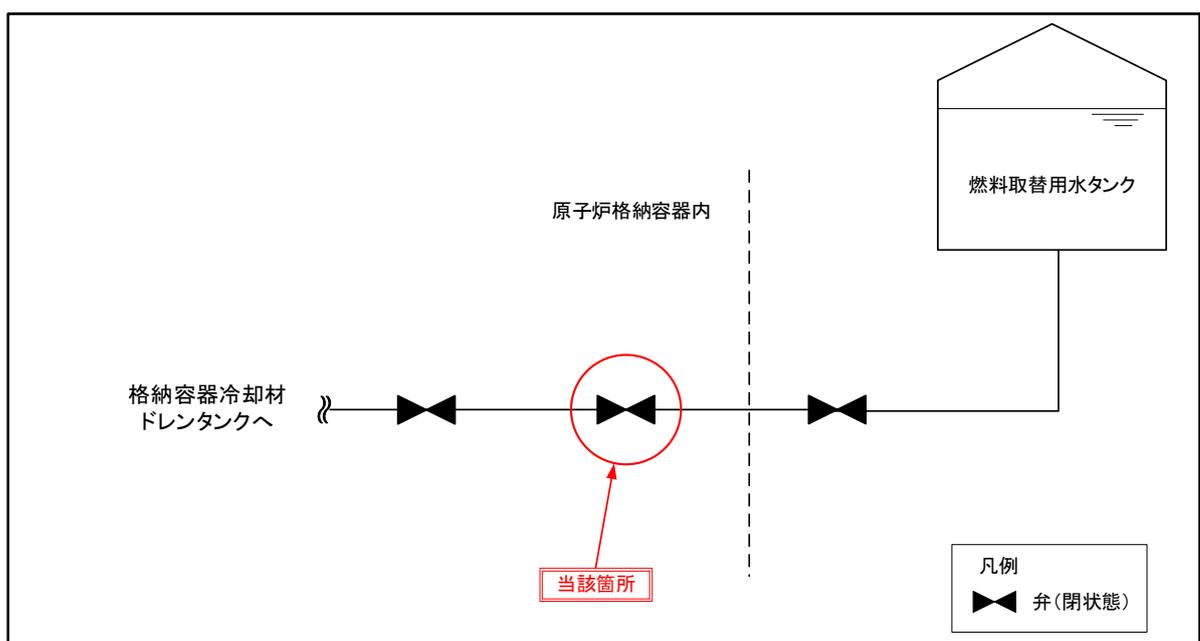
当該弁の分解点検を実施し、弁内部の構成部品で消耗品であるダイヤフラム^{*2}と、軽微な腐食を確認したボルト（全 8 本中 4 本）の取り替えを実施しました。

その後、当該箇所の水張りを行い、漏えいがないことを確認し、本日 10 時 15 分、通常状態に復旧しました。

引き続き、詳細を調査します。

※1 国への報告基準（370 万 Bq）の 8 万分の 1 程度

※2 弁内部の構成部品で、流体を閉止する機能を有する消耗品。今回使用していたダイヤフラムはゴム製のもの。



伊方発電所 1 号機 燃料取替用水系統概略図

以上